

<大会レポート>

# 第62回都市計画全国大会

～海・山・都市・・・すべてを有する『日本の縮図』 広島～

茨城県土木部都市局都市整備課 浅井 崇俊

平成22年11月11日から12日まで、第62回都市計画全国大会が広島県広島市で開催されました。全国から約300名が集まり、意見・情報交換が行われました。

## 1日目

### ○主報告

#### 「都市行政をめぐる最近の動きについて」

今後の人口減少、超高齢社会を見据え、集約型都市構造への転換の必要性を説明したうえで、国交省の成長戦略の説明として大街区化、コンパクトシティ、官民連携などの取組の紹介がありました。また、CO<sub>2</sub>削減のため、低炭素都市づくりに向けたガイドライン等に関する説明が行われました。地方におけるモータリゼーションの進展が、まちづくりにとっての大きな課題であると改めて認識させられました。

### ○部会（第2部会）

#### 「暮らしやすいまちづくりを支える都市交通」

3つの部会に分かれて、まちづくりの課題等についての討議がおこなわれました。第2部会では、暮らしやすいまちづくりを支える都市交通の構築に向けた取り組みについて、3市の事例発表が行われました。

#### <報告1> 「広島市総合交通戦略について ～ひと・環境にやさしく、活力ある交通体系をめざして～」

広島市では「広島市総合交通戦略」を今年7月に策定し、「すべての市民が自由に移動する権利を保障する」という立場から、3つの施策コンセプトと9つの力点を設定しています。内容としては、路面電車等の公共交通機関の充実、都市高速道路などの幹線道路整備、自転車専用道の整備等のハード対策のほか、交通需要マネジメント推進などソフト面にも及んでいます。特に短トリップのニーズに対応し、超小型電気自動車や電動車いすの導入に触れられているのが興味深いものですが、コストを考慮すると難しいと感じました。

#### <報告2> 「盛岡市のバスを活かしたまちづくり ～『もりおか交通戦略』から」

盛岡市では、平成21年度に策定した「もりおか交通戦略」において、「マイカー抑制と公共交通・自転車の利用促進」を目標に、「バス」を重要な交通手段と位置づけ利用促進の試みが行われています。特に「ゾーンバスシステム」やPTPSの導入によるバスの利便性向上の取組は、実際に乗客が増加しているということもあり興味深いものでした。盛岡市は人口が30万人と、水戸市やつくば市などとも類似性があるため、バスを主要交通として認識させる教育などの必

要性を認識することができました。

#### <報告3> 「江戸川区の総合自転車対策 ～都市交通として、自転車の利用しやすいまちづくり」

江戸川区では自転車を便利な都市交通と位置づけ、自転車の利用しやすい環境づくりに重点をおいています。具体には、区内各駅の放置自転車対策のための大規模駐輪場の整備、小中学校での自転車マナー講座の開催、自転車専用道の整備などが挙げられます。江戸川区は都心に近く、本県と状況は大きく異なるものの、本県においても、まちなかにおいて、自転車を主要な交通手段と位置づけ、利用しやすい環境づくりを進めることは参考になると感じました。



### ○記念講演

#### 「山のまち海のまち」 コラムニスト 神足裕司氏

出身地である広島県の魅力について、自らの体験をもとに語られました。鞆の浦や瀬戸内海の島嶼部の成り立ちや歴史から、船をもてなす場所が発達してきたというのは、今の観光における「ホスピタリティ」の重要性が変わらず重視されているということで興味深いものでした。これから求められているのは、身の丈に合った自分たちの良さを引き出すまちづくりであり、その良さを分かる人が適度に訪れれば良いという考え方は、今後のまちづくり、活性化を考える際にも大変重要であると感じました。



## ■ 2 日目

3 班に分かれて、現地調査を行いました。私は「呉市周辺コース」に参加しました。

### ① MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島

旧広島市民球場の老朽化により、新たに駅東町地区に建設されました。本体建設費 90 億のうち、まちづくり交付金が約 7.08 億円投入されています。観客の視点に立ち、様々なシートアレンジなどの工夫がなされています。周辺地区は複合商業施設などの建築計画がありましたが、不況の影響により、現在のところ空き地が広がっています。



マツダスタジアム

### ② 呉市宝町地区整備事業・呉駅南拠点整備事業 (土地区画整理事業、街路事業等)

JR 呉駅南側の 10ha の地区に、大型商業施設及び海事博物館（大和ミュージアム）、海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館）を整備し、バリアフリーの自由通路で結んでいます（エレベータ等も合わせて整備）。現在では呉市内で最も賑わいのある地区となっています。



バリアフリー歩行空間

### ③ 呉市都市景観形成モデル事業 (街路事業、都市公園事業等)

市内蔵本通りにおいて、元々 6 車線あった車道を減らすことで、川沿いに幅 40m 程度の用地を確保し、公園を整備しました。現在では、市民の憩いの場となっています。平成 3 年には都市景観大賞を受賞しました。



### ④ 大和ミュージアム、てつのくじら館（呉市）

開館 5 年目を迎え、入場者数は 500 万人を超えるなど、呉市の中心観光施設として賑わいをみせています。「軍艦大和」の 10 分の 1 模型や貴重な展示品があり、呉の歴史とともに戦争の悲惨さを改めて感じました。

また、海上自衛隊の広報施設である「てつのくじら館」は、実際に使用されていた潜水艦を展示し、内部を見学可能ということで、非常に興味深い施設でした。



てつのくじら館

### ⑤ 平成ヶ浜地区区画整理事業（坂町）

広島市に隣接する坂町の駅前を埋立てて行われた区画整理事業です。広島市中心部まで車で約 15 分という立地条件を活かし、現在は完売とのこと。大型商業複合施設とともに、民間マンション、県営住宅等が整備されており、良好な地区景観を保全するため「地区計画」が定められています。



区画整理事業区域

### ■ 終わりに

都市計画全国大会に参加し、本格的な人口減少、少子高齢社会の到来を見据えたまちづくりの必要性、課題を認識することができました。特に呉市は、人口が急減し、高齢化率も高いですが、地域の資源を活かしたまちづくりに積極的に取り組んでおり、参考になりました。最後に、本大会を通して他県の方々との意見・情報交換を行うことができ、大変有意義な 2 日間となりました。



原爆ドーム

